



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第90号 2009年9月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成21年8月20日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
<http://www.sano-k.net/>
info@sano-k.net

「なんだこれは」

長さ30メートル、高さ5.5メートルの巨大壁画「明日の神話」が、JR線と京王井の頭線の渋谷駅連絡通路（渋谷マークシティ2F）に設置されました。

1968年、メキシコシティで建築中のホテルから依頼を受けて岡本太郎氏が制作したこの壁画は、数奇な運命を辿ります。依頼者の経営状況の悪化により、ホテルは未完成のまま人手に渡り、壁画は取り外され、メキシコ各地を転々とするうちに行方不明になります。2003年、岡本敏子氏によってメキシコシティ郊外の資材置き場で無惨な状態の壁画が奇跡的に発見され、日本での修復作業を終え、制作から約40年後、ついに一般公開されました。



横浜開港100周年の記念事業として建設され、昭和36年から港や街の発展を見続けている横浜マリンタワーが装いも新たにグランドオープンしました。1階にはカジュアルなカフェ&イタリアンレストラン、2階には横浜の歴史を紹介するコーナーとグッズ売り場、3階にはコンベンションやイベントなどに利用できるホール、そして、29階と30階には2層の展望フロアがそれぞれあります。

ブルーライトヨコハマ

マリンタワーは、かつて横浜のシンボルでしたが、新しく開発されたみなとみらい地区のさまざまな施設の人気に押されて来場者が激減し、取り壊しの話しまでも持ち上がりました。しかし、存続の決め手となったのは、「マリンタワーの灯りを見るとほっとする」といった横浜市民の多くの声でした。

街の灯りがとてもきれいになりました。歩いて、歩いても、小船のように。



横浜マリンタワー
横浜市中区山下町15番地
10:00~22:30
045(664)1100
<http://marinetower.jp/index.html>

風の音にぞ驚かされぬる

暦の上では、もう秋です。残暑厳しき中、芸術の秋のイベントをお知らせします。



●9月20日(日)
金沢文庫芸術祭 2009年 第11回
海の公園 入場無料
10:00~20:00
お問い合わせ 045(788)9119

●10月2日(金)
第6回 おっぱまワイン寄席
エルシャンテ追浜 出演・柳家喬太郎他
13:30~ 開場 14:00~ 開演
2,500円(ワンドリンク付)
お問い合わせ 046(865)2625

●11月7日(土)・8日(日)
第14回よこすか産業まつり
三笠公園 入場無料
9:30~16:00
市農工商のマーケット
お問い合わせ 046(822)8122



ざっくばらん 雑句芭欄

り。び。つ。寝。近。夕。秋。
い。四。ど。こ。う。日。は
そ。つ。ろ。な。の。さ。タ
ぐ。ろ。へ。り。し。暮
さ。二。行。た。して。れ
へ。つ。く。る。山。の
あ。三。と。に。端
は。つ。て。、い
れ。な。飛。三。と

「秋は夕暮れ。夕日がさして山の端にとても近くなっている頃に、カラスがねぐらへ行こうと、三羽四羽、二羽三羽などと飛び急ぐのさえ、しみじみとした趣がある。」

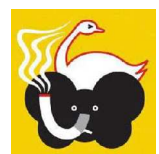
最近では、カラスを見て趣があると感じたり、歌を口ずさんだりすることはなくなりました。



クイズ(第89号)の答え

横浜・八景島シーパラダイスのマスコットキャラクターの①シーパラシー太です。1993年5月8日生まれの牡牛座で血液型はO型です。好きなものは、ハマグリとラーメンと生ビールで、苦手なものは、ねずみです。

クイズ 問 咄 只 和



さて、私は誰でしょうか？
①スワンゾウ ②象の鼻地区
③佐久間象山 ④エレスワン

次号予告

「絵本と手紙のあるカフェ」などについて取り上げる予定です。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

昭和53年の新築工事以来、住宅設備のメンテナンスなどを担当させていただいているお住まいをご紹介します。

今回は、庭に面した居間と廊下の1間半の2ヶ所の掃き出し部分の工事です。木製雨戸の敷居のそりなどにより、雨戸の開閉が困難になったので、使用上特に支障のないサッシはそのままとして、居間は雨戸と戸袋をアルミ製の※1雨戸一筋に交換し、廊下は※2手動式の雨戸シャッターに交換するというリフォーム工事です。

まず、既存の雨戸と鏡板、敷居や枠などを、外壁のモルタル部分の補修が最小限に済むように注意しながら取り外し、次に、下地に傷みがないかを確認した後、居間と廊下に、それぞれ雨戸一筋と手動式の雨戸シャッターを取り付けて、モルタル部分の左官補修をして、最後に、既存の外壁と同じ色で塗装仕上げをしました。

「朝夕の雨戸の開閉が、片手でスムーズにできるようになって、ストレスがなくなりました。もっと早くにリフォームすれば良かった。」という施工後のご感想をいただきました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ビフォー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。（すまい造りメール第56号・第75号参照）

※1雨戸一筋、※2雨戸シャッターは、それぞれ、木製雨戸や雨戸のないサッシから、既存のサッシを活かしながら、レール式の雨戸サッシや雨戸シャッターにすることができて、防犯性、断熱性、耐風圧性などの機能をアップすることができます。（トステムのホームページより抜粋）



←居間側にあるエアコンのダクトと室外機の移設費用を考慮して、シャッターの設置を見送り、雨戸レールを設置した



↑サッシの上端部から屋根の間にシャッターボックスを収納するため、ある程度のスペースが必要となる

お彼岸を迎える

追浜之祖師「日蓮宗浦谷山法福寺」の現在のご住職は、500年を越す古刹の36代目にあたります。前回「お盆を迎える」に引き続き、今回はお彼岸について、お話しを伺いました。（すまい造りメール第6号参照）

お彼岸は、正式には「彼岸会（ひがんえ）」と言い、彼岸とは、向こう岸の安らぎのある仏の世界に至ることを意味しています。私達のいるこちらの岸（此岸・しがん）には楽しいこともあります、さまざまな悩みや悲しみ、痛みや病気、老いや死などの苦しみもあります。このように迷いや苦しみの多いこの岸から「仏の教えを学び、先祖供養を忘れずに、少しでも早く向こうの岸（彼岸）へ渡れるように努力をしましょう」というのが彼岸の精神です。これは決して死を意味するのではなく、人間としての精神的な成長を表します。年に2回、春分の日と秋分の日をそれぞれ中日として、前後3日間の合計1週間が春と秋のお彼岸です。

お彼岸は、心の平安を求め、偏った考え方を持たないように教養を身につけ、生きることの大切さを学ぶ機会にしたいものです。本来ならば、日々そのような気持ちで過ごさなければなりませんが、せめて、年に2回、春と秋の1週間だけでもそのように心がけたいものです。（国府田義昭住職）



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。また、クイズのご回答もこちらにお寄せください。ハガキや封書、FAX、メールでもお受けします。お名前とご連絡先を忘れずにご記入ください。正解された方の中から抽選で毎月1名の方に、その号に関連したプレゼントをお送りしています。尚、郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーやカラー版を希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをダウンロードできますので、アクセスしてください。皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができれば幸いです。

〒237-0068 横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店 TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139